

令和4年度第3回市民意識調査票

「市民意識調査」へのご協力をお願い

～あなたの声をまちづくりに～

日頃から、札幌市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

札幌市では、市民の皆さまのお考えやご要望を市政に反映させるために、札幌市民5千人の方々にご回答をお願いする調査を実施しております。

突然のお願いで恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

● あなたにお願いしたいこと

「市民意識調査票」にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返送してください。

● 5千人の選び方

18歳以上の市民の皆さまの中から、無作為抽出法（くじ引きのような方法）で選ばせていただきました。

● 今回お送りしたもの

市民意識調査票、返信用封筒、チラシ（※）

（※ チラシはPR用で市民意識調査とは関係ありません。）

● プライバシーの保護について

この調査は、皆さまから無記名でご回答いただくものであり、また、回答結果は統計的に処理し、「こういうご意見が何%」というように数値、表にまとめますので、個人のお名前が公表されることは、決してございません。

また、調査をお願いした方の名簿は、この調査以外には使用いたしません。

【ご回答にあたって】

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでも構いません。

ご回答は、あてはまる番号に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、**無記名のまま切手を貼らずに令和4年10月21日（金）までに、郵便ポストへ投函してください。**

ご不明な点やお問い合わせは

札幌市総務局広報部市民の声を聞く課

担当 津田 ☎ 011-211-2045 まで

< 市民意識調査に関するよくある質問（FAQ） >

https://www.city.sapporo.jp/somu/shiminnokoe/citi_enq/faq.html



テーマ1 郷土意識について

問1 あなたは、札幌の街が好きですか。あてはまるものに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|---|-----------------|
| 1 好き | } | ⇒ 問1-1 へ |
| 2 どちらかといえば好き | | |
| 3 どちらかといえば嫌い | } | ⇒ 問2 へ |
| 4 嫌い | | |

《**問1**で「1 好き」または「2 どちらかといえば好き」と答えた方にお聞きします。》

問1-1 あなたが、札幌を「好き」または「どちらかといえば好き」だと思ふ理由は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

- 1 緑が多く自然が豊かだから
- 2 四季の変化がはっきりしていて、季節感があるから
- 3 街並みが整然としていて美しく、わかりやすいから
- 4 官庁や学校、企業や商業施設、病院が集中していて便利だから
- 5 地下鉄やJRなど公共交通機関が整備されているから
- 6 文化芸術的な催しやイベント、趣味が楽しめるから
- 7 区民センター、図書館、体育館などの施設が整っているから
- 8 季節に応じたさまざまなスポーツを楽しむことができるから
- 9 プロスポーツをはじめ、さまざまな競技を観戦することができるから
- 10 公園やレクリエーション施設、レジャー施設が整っているから
- 11 おおらかな気風や市民の人柄、人情が好ましいから
- 12 街に活気があり、これからも発展していく感じがするから
- 13 国際的な都市だから
- 14 その他 ()
- 15 特に理由はない

《皆さまにお聞きします。》

問2 あなたは、現在住んでいる地域に、これからも住み続けたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|---|-----------------|-----------------|
| 1 現在住んでいる地域に、これからも住み続けたいと思う | ⇒ 問2-1 へ | |
| 2 札幌市内には住み続けたいが、現在住んでいる地域には、
住み続けたいと思わない | ⇒ 問2-2 へ | |
| 3 札幌市内に住み続けたいとは思わない | } | ⇒ テーマ2 へ |
| 4 わからない | | |

《問2で「1 現在住んでいる地域に、これからも住みたいと思う」と答えた方にお聞きします。》

問2-1 あなたが、今後も住みたいと思う理由は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

- 1 通勤や通学に便利だから
- 2 買物や通院に便利だから
- 3 緑や自然の環境が良いから
- 4 文化や教育面の環境が良いから
- 5 住み慣れているから
- 6 自分の家があるから
- 7 近所づきあいなど周囲の雰囲気が良いから
- 8 その他 ()
- 9 特に理由はない

《問2で「2 札幌市内には住みたいが、現在住んでいる地域には、住みたいと思わない」と答えた方にお聞きします。》

問2-2 あなたが、住みたいと思わない理由は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

- 1 通勤や通学に不便だから
- 2 買物や通院に不便だから
- 3 緑や自然の環境が良くないから
- 4 文化や教育面の環境が良くないから
- 5 騒音や排気ガスなどで環境が良くないから
- 6 近所づきあいなど周囲の雰囲気が良くないから
- 7 現在の住居が不満だから
- 8 住民のモラルが低く、迷惑を受けることがあるから
- 9 その他 ()
- 10 特に理由はない

テーマ2 札幌市の施策・事業について

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

札幌市の取り組み	よくやっている					力をいれてほしい				
	そう思う	ある程度そう思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	そう思う	ある程度そう思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない
《記載例》										
例 この市民意識調査について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ア 住宅・まちづくりに関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
イ 公共交通の便利さを進める事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ウ 産業や経済の振興、雇用の推進に関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
エ ごみや資源回収のこと	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
オ 環境保全(公害)に関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
カ 河川・湖沼などの整備に関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
キ 地震・火災・水害などの防災対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ク 犯罪のない安全で安心なまちづくりに関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ケ 交通安全対策に関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
コ 道路の整備・維持管理に関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
サ 除雪に関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
シ 公園や緑地など「みどり」の事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ス 子どもの教育に関する事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
セ 生涯学習などに関する事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

札幌市の取り組み	よくやっている					力をいれてほしい				
	そう思う	ある程度そう思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	そう思う	ある程度そう思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない
ソ 文化芸術の振興に関する事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
タ スポーツ・レクリエーションの事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
チ 健康づくり、医療、衛生の事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ツ 母子及び父子・児童福祉に関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
テ 高齢者福祉に関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ト 障がい者福祉に関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ナ 国際化推進に関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ニ 市民への情報提供や相談に関する事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ヌ 市の取り組みに対する総合的な満足度	1	2	3	4	5					

【市政広告】 ※この広告は、市民意識調査とは関係ありません。

札幌周辺公共交通案内

さっぽろ えきバスnavi



「さっぽろえきバスnavi」は、パソコンやスマートフォンなどから札幌市内の公共交通機関の情報(時刻表、料金、乗継経路、バスの現在位置など)が検索できる便利なサービスです。

えきバスナビ

検索

もっと便利なアプリ版
はこちらから！

iOS



Android





えきバステル

札幌市コールセンター
年中無休 8時～21時
ツーじる しやくしょ

TEL **222-4894**

目的地までの「乗継経路が知りたい!」「運行時刻が知りたい!」「料金が知りたい!」などの疑問に電話でお答えします。

FAX 221-4894
Eメール info4894@city.sapporo.jp

テーマ3 映像の力を使ったまちづくりについて

札幌市では、映像のもつ高い情報伝達力を活用し、経済の活性化や国内外への魅力発信などの取り組みを進めています。そこで、市民の皆さまの、映像や撮影に関する意識などをお聞きし、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

映画、テレビドラマなどのロケーション撮影(屋外での撮影)を誘致し、撮影を円滑に進めるための支援を行う機関を「フィルムコミッション」といいます。

【札幌フィルムコミッション誘致作品】



©2017「探偵はBARにいる3」製作委員会



©2018「こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話」製作委員会



問4 あなたは、フィルムコミッションの言葉の意味を知っていましたか。

- 1 知っていた 2 知らなかった

問5 あなたは、札幌市がフィルムコミッションの取り組みを支援していることを知っていましたか。

- 1 知っていた 2 知らなかった

札幌フィルムコミッションでは、映画やテレビドラマなどの制作者から依頼があった場合に、参加していただけのボランティアエキストラ(*)を募集しております。

【ボランティアエキストラ募集ビジュアル】



【ボランティアエキストラ募集ポスター】



※ ボランティアエキストラとは、映画やテレビ等の撮影で、無償で群衆・通行人などを演じる出演者のことです。

問6 あなたは、札幌フィルムコミッションのボランティアエキストラ制度を知っていましたか。

- 1 知っていた ⇒ **問6-1** へ 2 知らなかった ⇒ **問7** へ

《問6で「1 知っていた」と答えた方にお聞きします。》

問6-1 あなたが札幌フィルムコミッションのボランティアエキストラ制度を知った場所や方法について、次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 札幌市公式ホームページ | 2 札幌フィルムコミッションホームページ |
| 3 札幌フィルムコミッション公式SNS (※) | 4 映画やドラマなどのエンドクレジット |
| 5 上映会などのイベント会場 | 6 街頭に掲示されているポスター |
| 7 その他 () | 8 覚えていない |

※ Facebook、Twitter、Instagram、LINE などのソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと

《皆さまにお聞きします。》

問7 あなたは、市内で行われる映画やテレビ番組などの撮影を見かけたら、どのように思いますか。それぞれの項目について、あてはまるものに○をつけてください。

(1) 撮影に興味がありますか。

- | |
|-------------|
| 1 興味がある |
| 2 どちらともいえない |
| 3 興味がない |

(2) 撮影を迷惑だと感じますか。

- | |
|-------------|
| 1 迷惑ではない |
| 2 どちらともいえない |
| 3 迷惑だ |

(3) 撮影がスムーズに進むよう積極的に協力したいと思いますか(通行規制への協力、撮影の妨げとなる音を出さない、ボランティアエキストラとして参加するなど。)

- | |
|-------------|
| 1 協力したい |
| 2 どちらともいえない |
| 3 協力したくない |

問8 あなたは、商品やサービスを、映画やテレビ番組などで見たことを理由に選ぶことがありますか。

- | | |
|---------|------------|
| 1 よくある | } ⇒ 問8-1 へ |
| 2 たまにある | |
| 3 あまりない | } ⇒ テーマ4 へ |
| 4 ない | |

《問8で「1 よくある」または「2 たまにある」と答えた方にお聞きします。》

問8-1 あなたが選んだ商品やサービスはどのような媒体で見かけましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 映画 | 2 テレビドラマ |
| 3 テレビバラエティ | 4 テレビドキュメンタリー |
| 5 テレビ報道 | 6 テレビショッピング |
| 7 テレビコマーシャル | 8 インターネット上の広告 |
| 9 動画投稿サイト (広告を除く) | 10 SNS (広告を除く) |
| 11 その他 () | |

テーマ4 災害への備えや災害情報の入手方法について

札幌市では、近年の激甚化・頻発化する自然災害の発生状況や社会情勢に応じた防災対策の実施・見直しを行っています。そこで、皆さまの災害への備えの状況などをお聞きし、今後の防災対策の参考とさせていただきます。

札幌市では、災害の発生に備えて、各ご家庭で最低3日、できれば1週間自宅生活で生活できるだけの食料や水などを備蓄していただくようお願いかけています。特に、感染症流行下において、避難所での感染リスクを軽減させるために、自宅が安全な場合には在宅避難も選択できるよう、各家庭での備えが大切です。

問9 あなたは、災害に備えて最低3日間自宅生活で生活できるだけの備蓄が求められていることを知っていましたか。

- 1 知っていた 2 知らなかった

問10 あなたは、災害に備えてどの程度の期間自宅生活で生活できるだけの食料や水、携帯トイレ等の備蓄品を用意していますか。

- 1 1日分 2 2日分
3 3日分 4 4～6日分
5 1週間分以上 6 把握していない
7 備蓄をしていない

問11 あなたのご家庭では、地震や風水害などの災害に備えてどのような対策をしていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 家具の固定や配置の工夫
2 家屋や塀などの補強
3 家族間での連絡方法や集合場所などの共有
4 備蓄品や非常持ち出し品の用意
5 食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）
6 自家用車へ早めの満タン給油（こまめな給油）
7 テレビや書籍、インターネットなどで災害時の心得や知識の習得
8 ハザードマップの確認
9 避難方法や最寄りの避難場所の確認
10 親戚や知人宅への避難の相談
11 地震保険、水災保険など災害関連の保険への加入
12 地域での防災訓練や防災イベントへの参加
13 所有している電子端末に防災関係アプリのインストール
14 その他（)
15 特に何もしていない

札幌市では、災害時にさまざまな方法、媒体で災害情報や避難情報などを発信しています。

問 1 2 あなたの世帯で、保有している機器は何ですか。次のうちから、あてはまるものにいくつでも〇をつけてください。

- 1 固定電話
- 2 F A X (ファックス)
- 3 テレビ
- 4 ラジオ
- 5 携帯電話 (スマートフォン)
- 6 携帯電話 (ガラケー)
- 7 パソコン
- 8 タブレット型端末 (iPad、Galaxy Tab など)
- 9 ウェアラブル端末 (スマートウォッチ・メガネ型端末など)
- 10 その他 ()
- 11 保有していない

問 1 3 あなたは、地震や風水害などの災害が発生又は発生のおそれがある場合、どのような手段で災害情報を入手しますか。あてはまるものにいくつでも〇をつけてください。

- 1 家族等からの固定電話への連絡
- 2 家族等からの F A X への連絡
- 3 家族等からの携帯電話・スマートフォンへの連絡
- 4 テレビの速報やニュース
- 5 ラジオの速報やニュース
- 6 緊急速報メール (エリアメール)
- 7 インターネットのニュース
- 8 防災情報のアプリからの通知
- 9 Twitter、LINE、Instagram などの SNS
- 10 新聞
- 11 知人等の口コミ
- 12 あてはまるものがない
- 13 その他 ()

問 1 4 あなたが、札幌市が提供する災害時の情報伝達手段として知っているものをいくつでも〇をつけてください。

- 1 札幌市防災アプリ (そなえ)
- 2 札幌市公式ホームページ
- 3 さっぽろ防災ポータル
- 4 札幌市公式 Twitter
- 5 札幌市公式 LINE
- 6 札幌市避難情報等電話サービス (※)
- 7 札幌テレビ放送 (STV) にて発信するデータ放送 (札幌市からのお知らせ)
- 8 知っているものはない

※ 令和4年8月から札幌市南区在住の携帯電話を保有しない高齢者を対象に試行している、自宅の固定電話に避難情報を音声配信するサービス。

問 15 あなたは、災害により自宅等から避難しなければならなくなった場合、どのような手段で避難所開設情報を入手しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 1 テレビの報道・ニュース | 2 ラジオの報道・ニュース |
| 3 札幌市公式ホームページ | 4 さっぽろ防災ポータル |
| 5 札幌市防災アプリ（そなえ） | 6 札幌市公式 Twitter、LINE などの SNS |
| 7 札幌市（区役所やコールセンター）に電話 | 8 家族・知人等からの連絡や口コミ |
| 9 その他（ ） | 10 あてはまるものがない |

問 16 あなたが、札幌市からの災害情報や避難所開設情報の伝達手段として導入又は強化したほうが良いと思うものについて、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1 電子メール | 2 アプリ |
| 3 固定電話・FAX | 4 テレビ・ラジオ |
| 5 ホームページ | 6 SNS |
| 7 電子看板（デジタルサイネージ） | 8 屋外拡声器 |
| 9 防災行政無線等の戸別受信機（※） | 10 その他（ ） |
| 11 特になし | |

※ 防災行政無線等から発信する市民向けの災害情報の音声を、自宅内の専用受信機で聞くことができる情報伝達手段。（札幌市では未導入）

大規模な地震の発生直後に大勢の方が一斉に帰宅等を開始すると、緊急車両の通行の妨げになったり、落下物による死傷や集団転倒など二次災害に巻き込まれたりするおそれがあるため、発災直後はむやみに移動を開始しないことが原則となります。札幌市では、このような『一斉帰宅の抑制』について、市民の皆さまや事業者に協力をお願いしています。

問 17 あなたは、発災直後の原則である『一斉帰宅の抑制』について知っていましたか。

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っていた | 2 知らなかった |
|---------|----------|

問 18 あなたは、家族・友人等と離れているときに災害に遭遇した場合に備えて、お互いの安否確認方法を決めていますか。

- | | |
|---------|----------|
| 1 決めている | 2 決めていない |
|---------|----------|

問 19 あなたは、災害時に家族・友人等の安否をどのような手段で確認しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1 携帯電話・スマートフォンへ電話 | 2 自宅へ電話 |
| 3 メールで連絡 | 4 LINE で連絡 |
| 5 Twitter、Instagram などの SNS で連絡 | 6 災害用伝言ダイヤル（171） |
| 7 災害用伝言版（web171） | 8 その他（ ） |

テーマ5 救急医療・かかりつけ医・在宅医療について

札幌市では、市民の皆さまが地域とのつながりの中で安心していきいきと生活できるよう、救急医療に関する相談窓口の運用や「かかりつけ医」「ACP（人生会議）」の普及啓発など、さまざまな事業に取り組んでいます。

そこで、市民の皆さまの、医療にかかる各種施策の認知状況や、救急・災害時等の行動についてお伺いし、今後の周知啓発等の参考とさせていただきます。

札幌市では、24時間 365日、急な病気やけがで、救急車を呼ぶべきか病院を受診すべきか迷った際に電話で相談できる、「救急安心センターさっぽろ（#7119）」を開設しています。

- 急病時などで、すぐに医療機関を受診したいが、どこが診療可能な医療機関か知りたいとき、診療時間内の医療機関や救急当番医療機関をご案内しています。
- 看護師がお聞きした症状から緊急度を判定し、その結果に応じて最寄りの医療機関を案内するなどの助言をしたり、119番へ電話を転送します。

救急車の適正利用に御協力ください



こんな症状のときは
すぐに119番

- ろれつがまわらない
- 突然、片方の手足に力が入らない
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸が締め付けられる
- いつもと違う、様子がおかしい

急な病気やけがで迷ったら!

24時間365日

看護師が相談に対応します
診療中の医療機関を案内します



#7119

救急安心センターさっぽろ

ダイヤル回線または一部IP電話など
電話が繋がらないときは
☎011-272-7119へ

札幌市消防局 札幌市保健福祉局

問20 あなたは、「救急安心センターさっぽろ（#7119）」を知っていましたか。

- | | | | | | | | | | | | |
|--|-------------------|---|-----|-------|---|--------------------|----------|---|-----|---|--|
| <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 知っていて、利用したことがある</td> <td rowspan="3" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">⇒</td> <td rowspan="3" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">問20-1</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">へ</td> </tr> <tr> <td>2 知っていたが、利用したことはない</td> </tr> <tr> <td>3 知らなかった</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">⇒</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">問21</td> <td style="vertical-align: middle;">へ</td> </tr> </table> | 1 知っていて、利用したことがある | } | ⇒ | 問20-1 | へ | 2 知っていたが、利用したことはない | 3 知らなかった | ⇒ | 問21 | へ | |
| 1 知っていて、利用したことがある | } | | | | | ⇒ | 問20-1 | へ | | | |
| 2 知っていたが、利用したことはない | | | | | | | | | | | |
| 3 知らなかった | | ⇒ | 問21 | へ | | | | | | | |

《問20で「1 知っていて、利用したことがある」または「2 知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きします。》

問20-1 あなたは、「救急安心センターさっぽろ（#7119）」をどのような方法で知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|--|---------------------------|
| 1 広報さっぽろ | 2 札幌市民便利帳・各区ガイド |
| 3 札幌市が発行している冊子やパンフレット | 4 札幌市の公式ホームページやSNS |
| 5 札幌市公式以外のインターネットやSNS | 6 テレビ・ラジオ |
| 7 新聞 | 8 医療機関や公共施設に貼られているポスター |
| 9 町内会や自治会の回覧 | 10 商業施設等のトイレ等に貼られているステッカー |
| 11 家族や知人からの口コミ | 12 他の窓口などで紹介された |
| 13 その他（ ） | 14 わからない |

問2 1 あなたは、自分や家族が夜間・休日などに急に体調が悪くなった場合(自力で歩ける程度)、どのような行動を取りますか。あてはまると思われるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 そのまま様子を見る(翌日等まで待つ)
- 2 市販薬などを服用する
- 3 救急安心センターさっぽろ(＃7119)へ電話で相談する
- 4 札幌市夜間急病センターを受診する
- 5 インターネットや新聞で受診できる病院を調べて受診する
- 6 かかりつけ医や近所の医療機関など知っている病院に相談する
- 7 救急車を呼ぶ
- 8 その他()
- 9 特に何もしない

問2 2 あなたは、次のような場合に救急車を利用しますか。利用すると思われるものについて、いくつでも○をつけてください。

- 1 自力では動けない、起き上がれない状態のとき
- 2 息ができない、胸が苦しいなど、症状が重く、命の危険を感じたとき
- 3 我慢できるが、強い痛みがあるとき
- 4 症状が重いかわからない不安を感じているとき
- 5 早く診てもらいたいとき
- 6 どの病院へ行けばいいかわからないとき
- 7 夜間や休日にかかりつけ医や近所の医療機関が空いていないとき
- 8 病院へ行く交通手段等がないとき
- 9 その他()
- 10 どんな場合であっても利用しない

大規模な災害等が発生した場合、医療機関においてもインフラ被害や従事者の被災等により診療を続けることが困難となる恐れがあります。このため、札幌市では、災害の発生時に、その時点で受診可能な医療機関を随時、ホームページ等で発信することとしています。また、災害の規模によって各区保健センター等に応急救護所を設置し、負傷者への応急手当等を行う場合があります。

問2 3 あなたは、札幌市が災害発生時に、その時点で受診可能な医療機関をホームページ等で発信していることを知っていましたか。

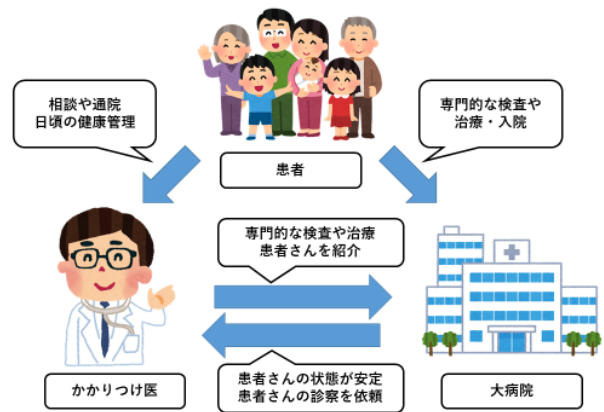
- 1 知っていた
- 2 知らなかった

問2 4 あなたは、災害発生時に、けが(骨折や打撲、出血があるが自力で歩ける程度)をした場合、どのような行動を取りますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 救急車を呼ぶ
- 2 インターネットで医療機関を調べて受診する
- 3 近くの医療機関に行ってみる
- 4 避難所に行ってみる
- 5 救急安心センターさっぽろ(＃7119)に電話
- 6 家で応急手当等をする
- 7 その他()
- 8 特に何もしない

札幌市では、体の不調を感じた際に受診したり、自分の健康について相談したりする、決まった医療機関(医師)のことを「かかりつけ医」と呼んでいます。

「かかりつけ医」は体質や病歴・健康状態を継続的に把握しているため、適切な治療やアドバイスをもらうことができ、精密検査を受ける場合など、大きな病院の受診が必要なときに「紹介状」を書いてもらうことができます。



問25 あなたは、「かかりつけ医(歯科医を除く)」を持っていますか。

- 1 「かかりつけ医」を持っている
(病気の種類や、体の不調の部位に応じて持っている場合も含む)
- 2 「かかりつけ医」を持っていない

問26 あなたが、「かかりつけ医」に期待することは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 健康相談に乗ってくれる
- 2 大学病院や市立病院など適切な病院を紹介してくれる
- 3 体の不調を感じたときに診てくれる
- 4 病気や治療についてよく説明してくれる
- 5 設備がそろっている
- 6 自分の病状を把握している
- 7 患者の話をよく聞いてくれる
- 8 自宅や職場から近く通院しやすい
- 9 自力で通院できないときに、往診してくれる
- 10 待ち時間が短い
- 11 その他 ()
- 12 特にない

札幌市では、健康診断等(自治体や企業、学校等で行う健康診断、健康診査及び人間ドック。以下「健康診断等」といいます。)を毎年受けることを推奨しています。

※ ここでは、がんのみの検診、妊産婦検診、歯の健康診査、病院や診療所で行う診療としての検査は含みません。

問27 あなたは、何年ごとに「健康診断等」を受けていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 ほぼ毎年受けている
- 2 2年に1度くらい受けている
- 3 3年に1度くらい受けている
- 4 3年以上受けていない
- 5 受けたことがない

「在宅医療」では、病気やけがなどにより通院が困難な人や人生の最終段階を迎えた人などが自宅等(※)の生活の場で必要な医療を受けられるよう、医師などが自宅等を訪問して看取りまでを含めた医療を提供します。

札幌市では、市民の皆さまが住み慣れた地域で「もれ」や「きれめ」なく、安心して療養できるよう、在宅医療体制の構築に取り組んでいます。今後の事業の進め方の参考とするため、以下の内容についてお伺いします。

※ 自宅、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など

問28 あなたは、高齢や病気などが理由で通院することが困難となった場合に、人生の最期のときをどのように過ごしたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 今まで通っていた（または入院している）病院等に入院したい
- 2 自宅で療養して、必要になれば病院等に入院したい
- 3 自宅で最期まで療養したい
- 4 特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の施設に入所したい
- 5 その他（ ）
- 6 わからない

問29 あなたは、あなたと同居している身近な人が、高齢や病気などが理由で通院することが困難となった場合に、人生の最期のときをどのように過ごしてほしいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。なお、同居している方がいない場合は、いることを想定して回答してください。

- 1 今まで通っていた（または入院している）病院等に入院してほしい
- 2 自宅で療養して、必要になれば病院等に入院してほしい
- 3 自宅で最期まで療養してほしい
- 4 特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の施設に入所してほしい
- 5 その他（ ）
- 6 わからない

問30 あなたは、高齢や病気などが理由で通院することが困難となった際に、仮に在宅医療を利用するとした場合、特にどのような情報を知りたいですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 受けられる医療の内容
- 2 入所できる施設
- 3 医療費・療養費
- 4 介護者の負担
- 5 在宅医療を受けた人の事例
- 6 その他（ ）
- 7 特になし

大きな病気やケガにより命の危険が迫った状態になると、約7割の方が医療やケアなどを自分で決めたり望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。

もしものときのために、人生の最終段階において、あなたが望む医療やケアについて、家族や医療関係者と共に、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取り組みのことを「ACP:アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)」と呼んでいます。

あなたの心身の状態に応じて、かかりつけ医等からあなたや家族等へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。

また、心身の状態に応じて意思は変化することがあるため何度でも繰り返し考え、話し合うことが必要です。



問3 1 あなたは、「ACP」や「人生会議」という言葉を知っていましたか。

1 知っていた ⇒ **問3 1-1** へ 2 知らなかった ⇒ **問3 2** へ

《**問3 1**で「1 知っていた」と答えた方にお聞きします。》

問3 1-1 あなたは、「ACP」や「人生会議」をどのような方法で知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1 札幌市が発行している冊子やパンフレット | 2 札幌市の公式ホームページ |
| 3 テレビ・ラジオ | 4 新聞 |
| 5 札幌市以外が発行している冊子やパンフレット | 6 札幌市公式以外のインターネット |
| 7 研修会・講演会等 | 8 医療機関で教えてもらった |
| 9 その他 () | |

問3 2 あなたは、人生の最期のときに望む医療やケアについて、家族や医療関係者と話し合ったことはありますか。

1 話し合ったことがある ⇒ **問3 2-1** へ
2 話し合ったことはない

《**問3 2**で「1 話し合ったことがある」と答えた方にお聞きします。》

問3 2-1 あなたは、人生の最期のときの医療やケアについて、どのような時に家族や医療関係者と話し合っていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 病気やけがで入院したとき
- 2 体調や病状に変化があったとき
- 3 人間関係に変化があったとき
- 4 定期的に話し合っている
- 5 その他 ()

最後にあなたご自身のことについておたずねします。あてはまるものに○をつけてください。

F 1 あなたの性別は

- 1 男性 2 女性 3 その他

F 2 あなたの年齢は（令和4年10月1日現在）

- 1 18～19歳 2 20～29歳 3 30～39歳 4 40～49歳
5 50～59歳 6 60～69歳 7 70～74歳 8 75歳以上

F 3 あなたは現在何区にお住まいですか

- 1 中央区 2 北区 3 東区 4 白石区 5 厚別区
6 豊平区 7 清田区 8 南区 9 西区 10 手稲区

F 4 あなたのご職業は（もっとも近いもの1つに○をつけてください。）

- 1 会社員 2 公務員 3 自営業 4 パート・アルバイト
5 主婦・主夫 6 学生 7 無職 8 その他

F 5 あなたの同居しているご家族は（あてはまるものいくつでも○をつけてください。）

- 1 配偶者 2 乳幼児（0～2歳程度）
3 就学前児童（3～5歳程度） 4 小学生（6～12歳程度）
5 中学生（13～15歳程度） 6 高校生（16～18歳程度）
7 大学（院）・専門学校生 8 65歳以上の高齢者
9 上記「1」～「8」以外の方 10 いない

F 6 あなたの出生地は

- 1 札幌生まれ 2 札幌以外

F 7 あなたの札幌居住年数は

- 1 1年未満 2 1年以上～3年未満 3 3年以上～5年未満
4 5年以上10年未満 5 10年以上～20年未満 6 20年以上～30年未満
7 30年以上

F 8 あなたは今の場所に何年くらい住んでいますか

- 1 1年未満 2 1年以上～3年未満 3 3年以上～5年未満
4 5年以上10年未満 5 10年以上～20年未満 6 20年以上～30年未満
7 30年以上

調査は以上で終了です。長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らずに令和4年10月21日（金）までに、郵便ポストへ投函してください。